

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

大宮小学校



【校訓】希望 【校風】楽しい学校 【学校の木】あおぎり

I 学校教育目標

あかるく かしこく たくましく

II 目指す学校像

1. 児童が生き生きと活動する学校
2. 地域とともに歩む学校



■所在地：さいたま市大宮区大門町 3-3

■電話：048-641-7051

■FAX：048-645-1655

■交通：JR 大宮駅徒歩 5 分

01 互いにかかわり合い、他者を尊重できる子の育成



本校では、自尊感情を高め、自ら進んで学び、活動する児童の育成を目指しています。そのために、タブレット PC も活用し生活や学習の問題を発見し、自分の思いを表現したり友達に共感したりしながら、よりよい解決を目指す力「協働的問題解決力」を身に付ける環境づくりを行っています。全ての教室に、児童同士の信頼関係を深め、児童の自尊感情を高め合うためのモデルとして

「あいづち名人」「みとめ合い名人」を掲示しています。各教科等の学習場面だけではなく、学校生活全般で活用できるように指導を行っています。また、集団の一員としての自覚をもつとともに、児童が互いのよさを積極的に認め合う場として「きらめきメール」に取り組んでいます。これらの活動を通じて、豊かな人間関係を築き、互いに尊重し合える児童の育成を目指しています。



02 地域に貢献しようとする心の育成



本校では、奉仕の心を知り、根付かせる実践の場として「おはよう活動」を実施しています。昭和52年、JRCに加盟し、活動の一環として学校周辺及び氷川参道の清掃活動を開始しました。さらに、昭和60年、大宮駅前通りの歩道に設置されたフラワーポットの水やりを始めたことを契機に、清掃範囲を駅前まで広げたいという児童の意見を尊重し、現在までおよそ40年間継続して活動を行っています。「ホームタウン大宮をきれいにしよう」を合言葉に、全児童が月に1回、木曜日の朝に大宮駅前の通りや校内の清掃・美化活動に取り組み、ボランティア活動を通じて、地域に貢献しようとする心の育成を目指しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

大宮東小学校



学校教育目標

【じりつ(自立・自律)・きょうせい(共生・共成)】

自ら学び、考え、判断して実行し、

ともに生きる東っ子

めざす児童像

明るい子 がんばる子 自ら学ぶ子



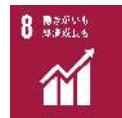
■所在地：さいたま市大宮区堀の内町3丁目145番地

■電話：048-644-0311

■FAX：048-645-4590

■交通：JR大宮駅→東武バス「堀の内三丁目」バス停下車徒歩1分

01 『東小にかかわるすべての人が笑顔になれる学校』を目指して



学校は「ある」ものではなく、変わりゆく社会のニーズを先取りしながら「つくる」ものであると考えます。東小にかかわるすべての人が当事者意識をもち自分事として「よりよき大宮東小をつくっていきましょう」という志が、笑顔で幸せになれる学校づくりにつながります。◎教職員は、子どもが自ら学び、学ぶことが楽しみにする学校をつくる。◎子どもたちは、自らが学校を楽しくしていく。◎保護者は、自分の子どもが学ぶ学校をつくる。◎地域の方々は、地域の宝が学ぶ学校をつくる。そして、教職員は、自ら学び、授業力・指導力を高めるための努力をいとわず、子どもの事実に向き合いながら、日々、子どもと共に成長していきます。令和5年度は開校70周年を迎えました。70周年スローガン「東小 みんな笑顔の わになるろう」のもと、子どもの成長をすべての大人が支え、笑顔あふれる学校を目指してまいります。



02 環境・福祉教育の充実を目指して



本校では、ペットボトルキャップ回収・テープ巻き芯回収・インクカートリッジ回収・ベルマーク回収などのリサイクル活動を常時行っています。さらに毎月「リサイクルデー」「資源回収日」を

設けて、リサイクルデーにはボランティア委員会を中心に古新聞、牛乳パック回収を行い、資源回収日には地域ごとに連携しながら資源回収をしています。また、4年生の総合的な学習の時間では、自分たちの身近な地域を調べ、多くの人に親切な施設や道具等について考える取組をしています。こうした環境・福祉的活動を通して、子どもたち一人ひとりが未来の担い手としての意識を持ち、限りある地球資源を大切にしたり、人にやさしい町づくりをしようとしたりする姿勢を身に付けさせたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

大宮南小学校



学校教育目標

『心もからだも健康な子』

- ① : みんな明るく元気な子
- ② : なかよく助け合い努力する子
- ③ : みずから学び創造する子
- ④ : コミュニケーションを大切にする子



■ 所在地 : さいたま市大宮区吉敷町3丁目87番地 ■ 電話 : 048-641-0339
■ F A X : 048-641-0366 ■ 交通 : JRさいたま新都心駅東口徒歩8分

01 健康と福祉の課題を解決するために



3 すべての人に健康と福祉を



～身近な取組から世界の課題を知るきっかけに～

本校では、アルファ・ジャパンの「ペットボトルキャップをワクチンに変える」活動に取り組んでいます。活動によって得たワクチンは、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会（JVC）を経由し、開発途上国に送付されています。この活動の目的は、①「開発途上国の健康と福祉の現状と課題を知ること」、②「知り得た課題を解決するためにできることを考え、行動すること」、③「自己の健康の保持増進への意識を高め、行動すること」です。①に関しては、環境委員が中心となり、開発途上国の課題や私たちにできることは何かを調べ、ポスターにまとめ、校内に掲示したり、全校児童にペットボトルキャップの回収を呼びかけたりしました。令和4年度は、30kgのキャップを回収し、ワクチン15本分を寄付することができました。③に関しては、保健指導（石けんを使った手洗いの励行や清潔なハンカチを毎日持参すること等）及び給食指導（「早寝早起き朝ごはん」運動や食育の推進）を通して、健康への意識を高め、自己の生活を振り返る機会を設けることで、子ども達の健康の保持増進に向けた支援をしています。4年生の「総合的な学習の時間」においては、「元気で健康な体」をテーマに教材開発を行い、担任と養護教諭・栄養教諭が連携しながら横断的な学習を行っています。また、長期休業には「歯みがきカレンダー」を各家庭で実施することで、歯の衛生意識の向上を図るとともに、子ども達の健康の保持増進を推進する機会と捉え、継続して取り組んでいます。

これらの取組を通じて、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」に寄与していきたく考えています。また、他の世界の課題に向き合うきっかけになると考えています。

02 大宮南中学校区の人権教育の拠点として



10 人や国の不平等をなくそう



～義務教育期間を見通せる利点を生かして～

さいたま市立大宮南中学校の9割以上の生徒が本校の卒業生であることを鑑み、義務教育期間の前期において人権教育を推進することが非常に重要であると考えています。本校では、相手のことを考え、協力しながら生活できるように子ども達の指導及び支援を行っています。また、「いじめ防止基本方針」を策定し、子ども達が主体となっていじめ防止に向けた行動をとることができるよう「いじめ撲滅強化月間」を定め、校長による講話やいじめ撲滅の学級スローガンづくりなどを行っています。これらの取組を通じて、SDGsの目標10「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきたく考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立

大宮北小学校



学校教育目標

「未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む」

目指す児童像	基本方針	行動目標
進んで学ぶ子	よさをみつけ	【け】げんきにあいさつ
思いやりのある子	よさをみとめ	【や】やさしい笑顔で友だちいっぱい
明るく元気な子	よさをのばす	【き】きれいな学校



■所在地：さいたま市大宮区宮町3-84

■電話：048-644-0123

■FAX：048-644-5603

■交通：JR大宮駅東口徒歩10分

01 「地域清掃活動」 自分たちの地域を大切に



本校では、地域の資産である氷川神社の参道の清掃を全校児童で行っています。

ねらいの一つに「地域を清掃することによって、地域社会の様子を知り、郷土に対する愛着をもつ。」と設定し、SDGsのターゲット11.4「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する」への第一歩として、まず自分たちの地域を守る心情を育て、他の地域も同じように大切にできるようにしたいと考えています。



【大宮氷川神社参道清掃】

また、令和3年度は大宮北中学校の1年生と合同で活動しました。「異学年と一緒に活動することによって、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たし交流を深める」ために中学生とも一緒に活動し、それぞれの学年に応じた役割を果たすことで、自分の力で仕事を成し遂げる喜びを感じられるようにしています（令和4年度は雨天のため中止）。

02 地域の資産を生かした教育活動



本校ではSDGsのターゲット4.7「2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を推進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」を実現させるための基盤として、人権教育・道徳教育を通じて豊かな心の育成に努めています。

また、図書館、消防署、博物館等の公共施設や社会福祉協議会等の地域の教育資源の活用による学習、公民館との連携による本校の教育活動の成果の発信をしながら、持続可能な社会の構築に必要な知識及び技能の習得に努めるとともに、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、12「つくる責任、つかう責任」の実現に貢献できる力の育成に努めています。

また、図書館、消防署、博物館等の公共施設や社会福祉協議会等の地域の教育資源の活用による学習、公民館との連携による本校の教育活動の成果の発信をしながら、持続可能な社会の構築に必要な知識及び技能の習得に努めるとともに、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、12「つくる責任、つかう責任」の実現に貢献できる力の育成に努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

桜木小学校



目指す学校像

「認めて育てる」教育を推進する学校

- 1 学ぶ楽しさ、喜びが味わえる授業（学習指導）の実践
- 2 一人ひとりのよさを生かし、豊かな心を育む教育の推進
- 3 安心・安全で心豊かな学びを保障する教育環境の充実
- 4 心身ともに健康でたくましい子を育てる教育の実践
- 5 家庭・地域・関係諸機関との連携による教育の推進（コミュニティ・スクール）



■所在地：さいたま市大宮区桜木町4丁目328番地9 ■電話：048-641-0276
 ■FAX：048-645-5934 ■交通：大宮駅西口徒歩10分

01 安心安全な学校生活を送るために



（1）豊かな心を育む教育の推進 児童一人ひとりに寄り添い小さなことにも耳を傾け、笑顔で下校できるように、「その日のことは、その日のうちに」の共通理解と徹底を図っています。また、「心を潤す7つの言葉」や「桜木小みんなの約束」「桜木小スタンダード」を教職員の共通行動の指針とし、児童が安心して学校生活を送れるようにしています。

（2）教育環境の整備 学習の場、生活の場として居心地のよい校庭・校舎・教室環境の整備をしています。また、廊下歩行や登下校指導、「交通安全教室」「避難訓練」などを通して学校内外において安全な行動がとれる児童を育てていきます。

02 学ぶ楽しさ、喜びが味わえる教育活動の実践



（1）ICT機器の活用 タブレット型コンピュータを活用しながら、個別最適化された学習を進めるとともに、わかることの喜びや充実感を味わわせる授業を実践しています。また、オンライン授業、ドリル系アプリ・スタディサプリの活用を通して家庭との連携を図り、基礎・基本の徹底を図っています。

（2）体力向上の取組 運動量を確保し、わかる・できる・かかわる体育の授業を実践します。また、「スポーツタイム」「業間外遊び」を中心にした全校挙げての運動の生活化を図っています。



03 地域とともにある学校をめざして



（1）コミュニティスクールの充実 積極的に学校を開放し、豊かな情報発信を行い、家庭・地域との連携を推進します。スクールサポートネットワークを活用するとともに、「進んで挨拶のできる児童」の育成に向けて、コミュニティスクールの柱として話し合いを進めていきます。

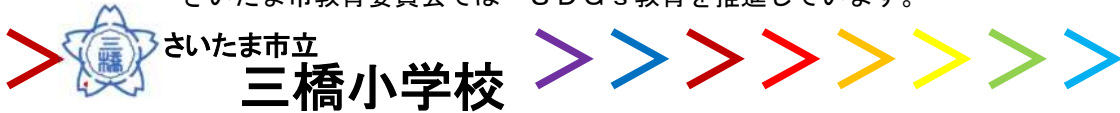
（2）地域の方との豊かなかかわり 「保護者ボランティアによる読み聞かせ」「未来くる先生」「サッカーキャラバン」など地域の人材や施設を生かした活動を行い、希望を育む教育を推進しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
三橋小学校

三橋小学校教育目標

「よく学び なかよく遊ぶ 心も体もたくましい 三橋の子」

○よく考える子 (知)

○心の豊かな子 (徳)

○たくましい子 (体)

○かかわりを大切にする子 (コミュニケーション)



■所在地：さいたま市大宮区三橋 2-20 ■電話：048-641-0792
■FAX：048-644-7322 ■交通：JR 大宮駅西武バスより乗車「中並木」「並木中」で下車

01 地産地消を生かした食育の取組



(1) 「パクパクだより」の活用

本校では給食の時間に栄養士が作成した献立の説明「パクパクだより」を児童や担任が読み上げ、「食」に対する興味・関心をもたせるようにしている。生産者や調理員さんへの感謝の気持ちをもつとともに、栄養バランスを考えて食事する大切さを理解できるようにしている。その結果、残菜を減らす意識が高まってきている。

(2) 総合的な学習の時間の活用

5年生では総合的な学習の時間で「埼玉名物を作ろう」を題材として学習を行っている。まず、埼玉県の特産物を調べ、自分たちの住む地域についての関心を高めさせる。次に埼玉の特産物を使用した給食献立を考え、家庭で保護者と一緒に作ってみる。その中から栄養士と相談し、いくつか実際に給食のメニューとして取り入れている。例年子どもたちに好評で、その日は普段より残菜が少なくなっている。



【今日の献立】

- ・さつまいもご飯
- ・牛乳
- ・れんこんメンチカツ
- ・月見団子汁
- ・お月見ゼリー

「十五夜」について説明します。今日は十五夜です。毎年十五夜の日には月がとてきれいなので、お月見をする風習があります。花びらにええ手をさし、お団子をお供えするのですが、これは秋にたくさん収穫がとれますよつに」という願いをこめる意味があります。また、十五夜は別名「芋名月」とも言われ、団子やさつまいもなどの収穫をお祝いする行事でもあります。今日の給食にも十五夜らしく、お団子やさつまいもを入れてみました。今夜は又気が晴れたら、お家の入とお月見をしてみてくださいね。

02 Society5.0 時代を生き抜く「読解力」や「課題解決力」を育む教育

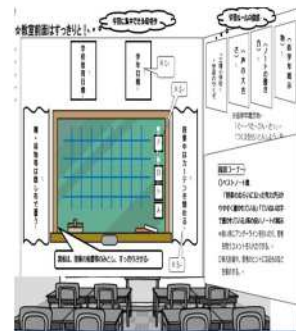


(1) 「読解力」を育むの授業研究の実施

教育課程全体で「読解力向上」に焦点を当て、学校課題研修に取り組んでいる。また、ICT機器を活用することで、紙媒体での読解力だけではなく、デジタル機器の活用する上での「読解力」向上にも取り組んでいる。

(2) STEAMS教育の推進

理数的な課題解決的な学習を行い、児童の「課題解決能力」の向上に取り組んでいる。児童が社会的な課題を捉え、自分たちにできる解決方法を考え、それらを共有して妥当性について議論し、行動することで、「未来に生きる真の学力」の育成を図っている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



本校は、学校教育目標を「こころ豊かで、たくましく、進んで行動する児童の育成とし、家庭・地域とともにねばり強く生き抜く子どもを育てる大成小学校を目指し、教育活動の推進を図っている。

目指す子ども像は「げんきいっぱい（たくましい子）あいさついっぱい（明るい子）なかよしいっぱい（やさしい子）」



■所在地：さいたま市大宮区大成町2-282 ■電話：048-663-1007
 ■FAX：048-663-9882 ■交通：JR 大宮駅徒歩 20 分

01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、『いのちの支え合い』を学ぶ授業」を核とした研究を通して、教育相談体制の強化と、「SOS の出し方に関する教育」の充実にかを入れています。教育相談体制の強化としては、学校独自のアンケートの実施や、担任やさわやか相談員による相談、相談窓口の周知徹底、教職員の資質向上に向けた児童理解研修等に取り組んでいます。

日ごろから「SOS を出すことの大切さ」について繰り返し児童に伝え、「あおぞらポスト」等を用いて児童が辛いときや苦しいときには、自分から助けを求められることができる態度を育成するとともに、児童の小さな変化を見逃さないように見守り、適切な支援を行うことで、児童全員が安心して学校生活を送れるようにしたいと考えています。この取組を通じて、SDGs の目標3「すべての人に健康と福祉を」に貢献していきたいと考えています。



02 よりよい生活に向けた、児童の主体的活動のために



本校では、車いす、高齢者、アイマスク体験や、福祉に関わる方をゲストティーチャーとして招き、福祉の現状や問題点について把握することで、自分たちも福祉社会の構成員の一員という自覚をもつとともに、誰にとっても安心して住み続けられる町づくりのために、自分に何ができるかを考えることができるようにしたいと思います。また、道徳の授業、特別活動等を核とした研究を通して「人の気持ちを考えながら、自分の考えを行動にうつせる児童の育成」に向けて、道徳の授業の充実や、各クラスで友達の良いところを認め合う活動や、学校や学級をよりよくしていくための話し合い活動の充実を図っています。また、成っこふれあい祭りや、レッツジョインクリーン活動を通して、地域と協力した子どもの育成をすることや、活動を通して、児童が下級生の面倒を見たり、地域の人とふれあいを楽しむ時間を大切にしたいと考えています。これらの取組を通じて、SDGs の目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標16「平和と公正をすべての人に」に貢献していきたいと思ひます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
芝川小学校

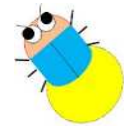


学校教育目標

「かしこく（知） たたく（徳） たくましく（体） ゆたかに（コミュニケーション）」

目指す学校像

「輝く笑顔 学ぶ意欲 あふれる学校」



■所在地：さいたま市大宮区天沼町2丁目1077番地 ■電話：048-644-7544
■FAX：048-644-5604 ■交通：JR大宮駅から東武バス観音前バス停下車徒歩5分

01 多様な生物とのかかわり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、PTAの協力を得ながら様々な生物を育てている。飼育小屋では山羊、烏骨鶏、チャボ、名古屋コーチンなどを飼っており、児童が生物と触れ合う機会を設けてきた。休み時間や登下校の際にも山羊に興味をもって関わろうとする児童がたくさんいる。また本校独自の委員会である「環境（ホタル）委員会」では、6月にあるホタル観賞会に向けて準備を進めたり、ホタル新聞を発行したりしてホタルの習性や育ち方などについて周知を図っている。環境委員では校内で飼育している亀など、ホタル以外の生物の飼育にも関わっており、名前の募集をするなどして学校全体で生物の育てていこうという意識も高まっている。これらの取組を通じて、目標15「陸の豊かさを守ろう」に貢献していきたいと考えている。

02 福祉教育・人権教育の一層の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、ボランティア委員会を中心にボランティア活動に励んでいる。具体的には募金活動への取組を通して地域福祉の推進について意識を高めている。教科等の指導としては、各教科を横断して人権教育の充実を図り、人権意識の高揚を目指している。また、主に4年生の総合的な学習の時間で盲導犬や地域の老人ホームと触れ合う活動を通して、誰もが共に暮らしていくために自分ができることについて考える機会をつくっている。さらに、5年生では、スクールロイヤーによるいじめ予防に関連する特別講義の機会を設定し、いじめやネットトラブルについて自分事として考える機会を設けている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



上小小学校



～ かがやく瞳 みんな仲良し こぼれる笑顔 ～

- 1 「思いやりのある子」「進んで学ぶ子」「健康な子」
学校教育目標のもと児童一人ひとりの可能性を伸ばす
教育活動を推進
- 2 学ぶ喜びや友達と関わる楽しさが味わえる学校
教える喜びやともに磨きあう充実感が味わえる学校
保護者や地域が信頼を寄せ、誇りに思われる学校



■ 所在地：さいたま市大宮区上小町 1 3 3 7 - 1 ■ 電話：048-644-6251
■ FAX：048-644-5633 ■ 交通：大宮駅西口下車 徒歩 2 5 分

01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、互いに認め合いよりよい学校生活が送れるよう

人権教育に力を入れています。各クラスが作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめ撲滅の木」や「上小ハッピープロジェクト」に取り組むことで、児童全員が安心して充実した学校生活が送れるようにしたいと考えています。また、学校の情報をホームページやPTAと連携したアプリを活用し、提供することでペーパーレス化を図りながら家庭・地域と共通理解を図れるようにしています。



02 児童が主体的に活動に取り組むために



本校では、3年生以上の学年が、いずみ高校と交流活動をしています。高校生に指導を受けながら学年ごとに大根やサツマイモ等の作物を収穫したり、松ぼっくりツリー、スライム時計、モルタル文鎮などを作ったりしています。いずみ高校の特色を生かした体験活動を通して、ものづくりの楽しさや、働くことの意義について考えられるようにしています。



03 児童の食への関心を高めるために



本校では、旬の食材をふんだんに取り入れ、日本各地の郷土料理や世界の料理を再現したオリジナル献立を実施しています。また、児童が「サツマイモ」などの食材を育てることを通して、食への関心を高め、食物のいのちをいただくことのありがたさを知ることでフードロスを目指す取組を行っています。



